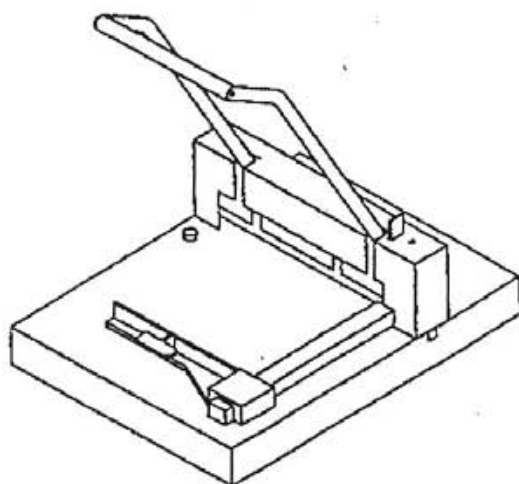
T740-06002A

取扱説明書

断　裁　機

180L 型
180S 型
150　型

ご使用になる前に、この「取扱説明書」をよく
お読みください。また　いつでもお読みになれる
よう保管場所を決めて、大切に保管してください。

株式会社 内田洋行

- ご使用の前に、この「安全上の注意」を良くお読みの上、正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 「安全上の注意」に使用されている絵表示の例。

 記号は注意を促す内容がある事を告げるものです。

 記号は禁止の行為である事をつげるものです。

 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

⚠注意	
	刃の下には手を入れないで下さい。 けがの原因となります。
	紙押さえおよび安全装置をはずして使用しないでください。 けがの原因となります。
	使用しない時はハンドルを最後まで上げておいてください。 けがの原因となります。
	断裁機の持ち運びは、ﾃｰﾌﾞﾙを持って移動させてください。 けがの原因となります。
	ぐらついたり傾いたりしている不安定な場所には設置しないで下さい。けがの原因となります。
	お子さまの使用は避けてください。また、お子さまの手の届かない場所に設置してください。 けがの原因となります。

はじめに

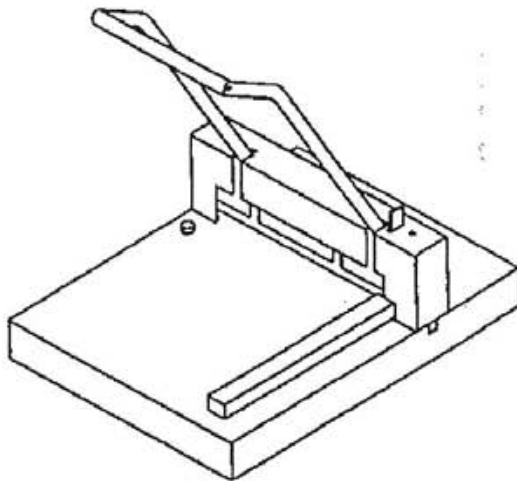
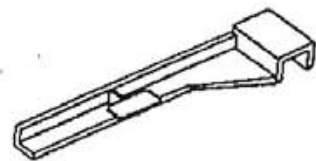
本製品をいつまでも最良の状態でご使用いただくために、この取扱説明書を良くお読み頂き、正しい使い方で末永くご使用下さるようお願い申し上げます。
この「取扱説明書」は、必要なときいつでもお読みになれるように保管場所を決めて、大切に保管してください。
この商品は、改良のために使用を変更する場合があります。このため、同一製品においても「取扱説明書」の記載内容が異なる場合がありますので製品ごとの「取扱説明書」を混同して使用しないでください。

目次

1. お使いになる前に

(1)　付属品の種類・数量の確認

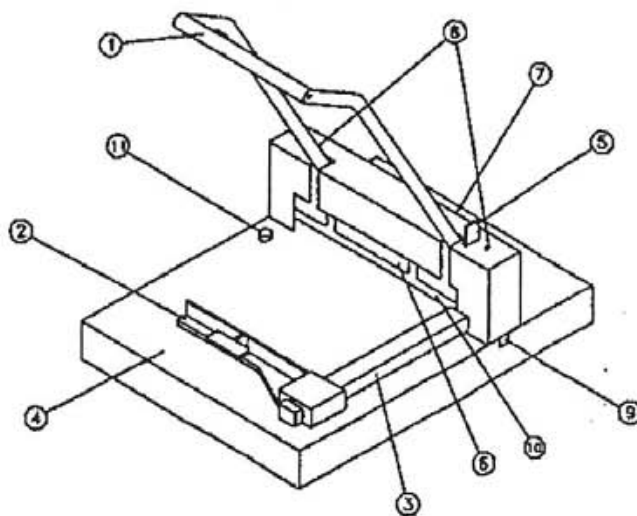
箱の中に次の品物が揃っているかお確かめ下さい。万一足りない場合は販売店または当社営業担当者までお問い合わせ下さい。

①本体

②スライドゲージ

③乾電池

150型：単三　2本

180S,180L：単一　2本

④取扱説明書

(2)　各部の名称と働き

①レバーハンドル
断裁時に刃を上下させます。

②スライドゲージ
用紙の切断幅を決める時に使用します。

③サイドゲージ
用紙を揃えます。

④テーブル
本体。

⑤安全ロックレバー
ロックされるとレバーハンドルが固定され刃は下がりません。

⑥プレスプレート
用紙を固定しずれを防ぎます。

⑦マシンカバー
刃物をカバーします。

⑧カバー止めネジ
マシンカバーを固定します。

⑨刃受板
断裁機の刃先の保護をします。

⑩刃
用紙を断裁します。

⑪カットラインスイッチ

2. 使用方法

(1)　準備

本体をぐらつきのない平らな机の上に設置します。
テーブルの裏側に電池をセットします。(電池は無くとも断裁に支障はありません。カットラインを必要とする場合にセットしてください。)

<table>
<tr><th colspan="2">⚠注意</th></tr>
<tr><td></td><td>ぐらついたり、傾いたりしている不安定な場所には設置しないで下さい。
けがの原因になります。</td></tr>
</table>

(2)　安全装置の確認

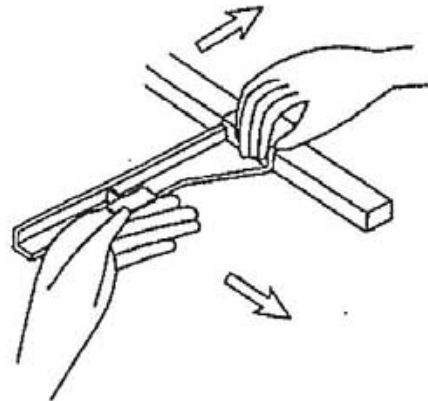
レバーハンドルがロックされているか確認します。ロックされていない場合はレバーハンドルを安全ロックレバーが作動する一番上まで引き上げます。

⚠注意	
	断裁機を使用しない場合は必ずハンドルをロックしておいてください。 けがの原因となります。

(3)　断裁の位置決め

用紙の断裁寸法を決めます。スライドゲージをサイドゲージ上の目盛りに合わせてスライドさせ固定します。

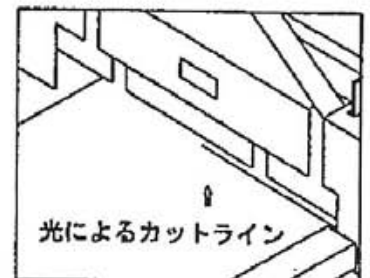
断裁すべき用紙はスライドゲージとサイドゲージに正しく当て、揃えて下さい。

スライドゲージは下図のように左手でゲージ部を持ち上げながらサイドゲージと直角になるよう右手でサイドゲージ側に引きながら固定、調節してください。

(4)　カットライン表示機能

この断裁機にはカットライン表示機能が付いております。断裁の目安にご利用下さい。

カットライン使用法

① 用紙をテーブルに載せスライドゲージに正しく揃えます。

② スイッチを入れるとマシンカバー内部のランプが点灯し断裁部分を示す光のラインが出ます。

スライドゲージを調節し、切ろうとする部分にカットラインが重なるように調節します。

③ 刃はカットラインに降りてきます。カットラインは0.5㎜程度の幅があります、正確に切る為には、試し切りをして、刃物の降りる正しい位置を確認して下さい。

④ 断裁が終わりましたら必ず電源スイッチを切って下さい。

（カットライン使用上の注意）

- 電源は電池ですので消し忘れの無いようご注意下さい。消し忘れますとランプが切れてしまう事があります。また、暗くなってきましたら新しい電池と交換して下さい。
- カットライン表示機能は、使用しなくても断裁には、支障ありません。必要に応じてご利用下さい。
- 電池はテーブルの裏に付くようになっております。電池の交換は、テーブルを傾けて行ってください。
- カットラインは構造上サイドゲージ側およそ半分程度しか出ません。

（5） 断裁

まず、右手で安全ロックレバーを押しロックを開放しながら左手でハンドルを静かに下げます。この時に安全ロックレバーが作動しずらい場合はハンドルを少し上に上げてから安全ロックレバーを押して下さい。ロックが外れたら右手もハンドルに添え両手でハンドルを下げます。プレスプレートが下がり用紙を自動的に押さえます。用紙を押さえましたら両手でハンドルを下げ用紙を断裁します。

<table>
<tr><td colspan="2">⚠注意</td></tr>
<tr><td></td><td>刃の下には手を入れないで下さい。
けがの原因となります。</td></tr>
</table>

（6）　断裁の完了

断裁が完了しましたらレバーハンドルに手を添えたままハンドルを一番上まで引き上げ安全ロックレバーをロックして下さい。安全ロックが作動した状態にしてから作業を終了させて下さい。
カットラインを使用した場合は必ずスイッチを切って下さい。

（切れ残りが出た場合）

本機で用紙を断裁した場合一番下の用紙が切れ残る事があります。これは、刃物の保護のために軟らかいポリエチレン製の刃受けを使用しているためです。この様な状況は刃物及び刃受けの新しいうちは起こりませんが、しばらく使用し刃受けに刃物の跡がつき始めると出始めることがあります。また、刃の跡が付きますと１、２枚の用紙を断裁した場合にも切れ残る事があります。
この様な場合はお手数ですが一番下にダミーの用紙を置いてご使用ください。刃受けに出来た刃物の溝が大きくなりましたら刃受けを交換して下さい。それでも切れ残りが出る場合は刃物を研磨することをお勧めいたします。（刃受けの溝は、刃の切れ味が悪くなると力を入れて裁断するためますます大きくなってしまいます。刃が切れる場合は軽い力で十分に断裁できます。）
　本断裁機は複数枚以上の用紙を断裁する事を目的に作られております、このため専用の刃を使用しておりその刃先の保護には環境を考慮し軟らかいポリエチレン製の保護板を使用しております。

3．日常のお手入れ

（１）刃受板の交換

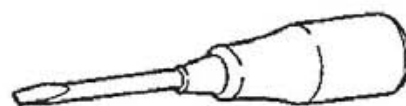
刃受板に刃先の食い込みが深くなりますと、刃の切れ味が悪くなります。この様な場合は刃受けを回転させ刃受け面を他の面に変えて下さい。刃受板はテーブルの側面から引き抜いて交換して下さい。

（2）替刃の交換

① 準備

刃の切れ味が悪くなった時は、商品を購入した販売店または当社までお申し付け下さい。研磨致します。

刃物の交換には以下の工具が必要になります。交換の前に工具をお揃え下さい。

ア．プラスドライバー　　　　　　イ．マイナスドライバー

ウ．レンチ　10mm・13mm

保護用手袋・ラジオペンチも有ると便利です。

②刃の交換順序

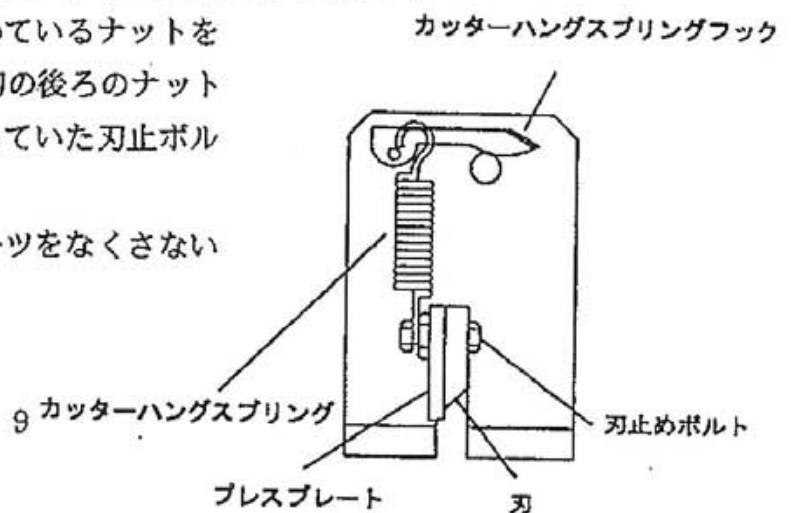
レバーハンドルがロックされている状態にします。

ア・マシンカバーのカバー止ネジを外し、カバーを引き上げて外します。

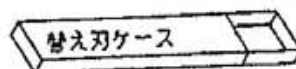
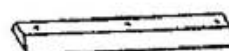
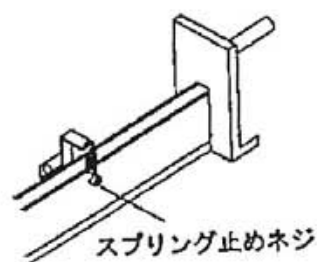
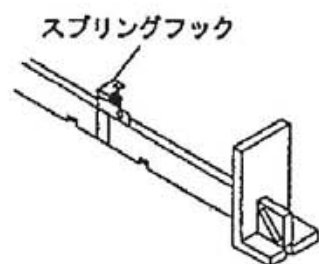
イ・刃の左右両端のカッターハングスプリングフックを手前に倒し刃を降ろします。刃とプレスプレートは下に降ります。

・　刃物は非常に危険ですので取扱には十分注意してください。

ウ・刃の左右のスプリングを止めているナットを10mm レンチで外します．刃の後ろのナットも外し、スプリングの掛かっていた刃止ボルトを前に引き抜きます。

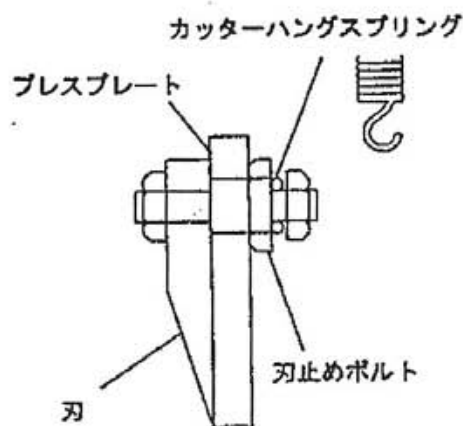
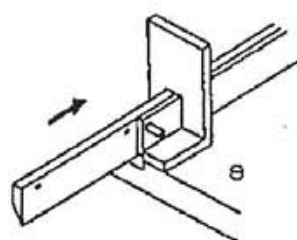
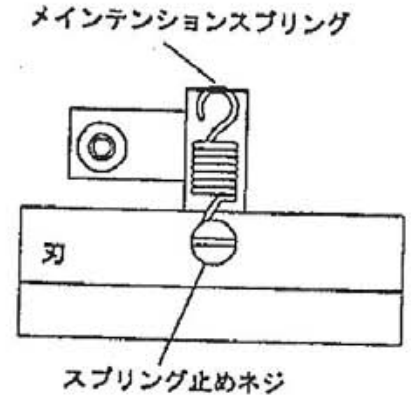
パーツを外す時は外したパーツをなくさない様に気をつけて下さい。

エ・次にプレスプレートの中央部に有るスプリングフックをプレスプレートよりレンチで外し、テンションスプリングを刃のスプリング止めネジより外します。
マイナスドライバーでスプリング止めネジを刃から外します。

オ・刃についている油で滑りやすくなっているので注意しながら刃を左側より慎重に引き抜いて下さい。きつい場合は刃物の右側をハンマー等で軽くたたいてみて下さい。

カ・刃が外れましたら替え刃ケースまたは段ボール等の箱に入れ研磨にお出しください。
刃物の取り扱いは慎重に行ってください。

替え刃の取り付け

キ・刃の取り付けは取り外しの逆の順序で行います。
まず刃を本体左側より差し込んで、刃とプレスプレートの左右の穴を合わせて下さい。

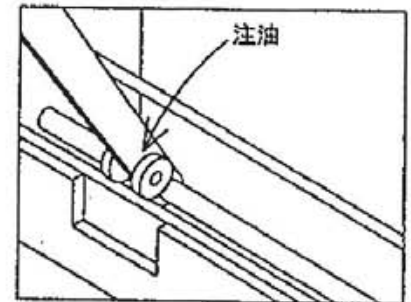
ク・マイナスドライバーで刃の後ろの中央部にスプリング止めネジを取り付けます。

ケ・刃の左右両端に手前側より刃止めボルトを差し込み後ろをナットでしっかり固定します。
この時ボルトにロールが着いていることを確認してください。
カッターハングスプリングを刃止めボルトに掛けナットで固定します。
カッターハングスプリングフックを手前より持ち上げ後へ倒します。刃とプレスプレートは上に上がります。

コ・テンションスプリングをスプリング止めネジに
　掛け、テンションスプリングフックをプレスプ
　レートにしっかり固定します。
サ・配線コードや安全ロックレバーに注意しながら
　マシンカバーを取り付けます。
　カバー止めネジを取り付け終了です。

刃の取扱は充分注意の上、各部のネジはしっかり締めつけて下さい。

（3）ランプの交換方法

マシンカバーを外すとランプが見えますので回転させソケットから外し交換します。

（4）注油

マシンカバー内のローラーやスライド部分には定期的に注油を行ってください。
油が切れますとレバーハンドルが重くなったり本体フレームの破損、プレスプレートの磨耗等の原因となります。

(5) カットラインがきれいに出ない場合

カットラインがきれいに出ない場合は下の手順で調整して下さい。

① 安全ロックレバーは常にロックの状態で作業をします。
② マシンカバーをはずします。
③ 用紙を一枚試し切りが出来るようにして下さい。
④ スイッチを入れ用紙に映る光のラインを見ながら電球の位置を前後に調整します。用紙に光のラインがきれいに出る位置を見つけてください。
⑤ ラインが出ましたらマシンカバーを取り付けてご使用下さい。

注：明るい場所で作業をしますとラインが良く分かりませんので、
なるべく光を遮ることの出来る場所等で調整してからご使用下さい。

4．消耗品

刃物、刃受け、電球、乾電池、スプリングは、消耗品です。
お求めはご購入の販売店か当社営業までお問い合わせ下さい。

5．仕様

	180-L型	180-S型	150-型
断裁幅	370 mm	300 mm	300 mm
断裁奥行	380 mm	300 mm	300 mm
台サイズ	474W×580D	404W×450D	404W×350D
断裁枚数	180 枚	180 枚	150 枚
質量	15 kg	10 kg	9 kg
断裁枚数はPPC用紙64 g/㎡			

＊カットラインや目盛りゲージは断裁の目安です。目盛り線自体の太さもありますので正確な断裁をする場合は試し切りをしてから調整してください。
＊本機使用は機能向上のため予告なく変更する事があります。

株式会社 内田洋行
〒104-0033　東京都中央区新川 2-4-7　お客様相談センター
フリーダイヤル 0120(077)266